

# 世界平和を希求する重要プログラム ロータリー平和センター

～はじめに～

ポール・ハリスは二度の世界大戦の中を生き、世界平和の難しさを痛感し、生涯、強く平和を希求したロータリアンでした。いまも世界中のロータリアンは彼を敬愛し思慕しておりますが、この「ロータリー平和センター」はポールの平和への願いを受け止め創設されました。一世紀にわたり国際平和を謳ってきたロータリーが初めて、正面から平和貢献の為に立ち上げたプログラムです。



2002年度にスタートし、教育と平和に関して特に優先される主要プログラムでありながら、まだ周知されていません。このプログラムの素晴らしさをよりご理解頂けるように、平易に問答形式でお届けいたします。

## Q ポール・ハリスと、プログラムの関係は

A ポールが亡くなったのは1947年のことです。そのポールの没後50周年を記念する平和プログラムをつくらうと、1996年にラジェンドラ・サブ管理委員長の下、すすめられました。

当初、平和学を中心としたロータリー大学創設が検討されましたが、困難と判断し、むしろ、平和学に優れた大学の中にセンターを設け、世界で平和に貢献したいと願い活動する方々を迎え入れ、スキルを高め再び世に出していくプランが決定しました。

## Q では、センターが設置される大学はどのように決まりましたか

A 専門の委員会が世界中から100もの大学を調査し、地域性も考慮しながら実地訪問した上で、大学側の意欲、教授陣と平和カリキュラム等、総合的に判断し、スタート時は7センター(8大学)をつくることに決定し、

2002年度よりのスタートとなりました。

## Q このプログラムの平和への貢献をお話してください

A 世界各地で紛争の絶えない今日、訓練を受けた平和構築のエキスパートが求められています。ロータリー平和センターでは、その平和構築に必要とされる専門知識とスキルを養う機会を与え、平和の担い手となる人材を育てることを目指しております。

但し、平和活動といっても多種多様です。センターでの学科も大学によって異なり、平和研究、紛争解決、国際関係、国際開発政策、環境問題、公共保健、ジャーナリズム、教育、行政学、その他と多岐にわたっています。

このように、多様な平和の分野でスキルを高めた平和フェローが卒業後、国際機関、政府機関、そして世界中のNGOなど、様々な場所でリーダーシップを発揮し、また、平和の担い手として、国内や国家間の協力構築、平和の推進、争いの調停に貢献するようにロータリーはプログラムをたちあげました。

当初のプログラムの名称は、「平和および紛争解決の分野における国際問題研究のためのロータリー平和センター」でしたが、現在は「ロータリー平和センター」と統一されております。



**Q** ロータリー平和センターの現況はどのようになっていますか

**A** 当初 7 センター (8 大学) でスタートしましたが、パリ政治学院、カリフォルニア大学バークレー校、サルバドル大学の三校は廃止され、スウェーデンのウプサラ大学が新設されました。2 年間学ぶ修士号コースは今は 5 センター (6 大学) です。

また、2005 年度より新たに 3 カ月修了の短期の平和センターを、タイのチュラロンコーン大学に開設し、平和活動中でもスキルをより強化できるシステムをつくったのです。

下の表をご覧ください。

**Q** ロータリー平和フェローの応募と選考について教えてください

**A** 職業と学業を通じて平和構築に強い専心を持ち、平和への熱意と献身をお持ちの方で、学士号またはそれ

に相当する学位があり、関連分野において 3 年以上の職歴 (短期は 5 年以上、学士号は不要) があれば有資格者です。年齢は問いません。ただし優れた英語力が必要です。

ロータリークラブで対応が難しい場合は、各地区にご相談ください。日本で生活する外国人でも応募出来ますし、海外からの応募も受けられます。

オンラインで 5 月 31 日までに申請を受けた地区は選考を行い、ガバナーと、もう一人の責任者が承認した上で、7 月 1 日の締切日までに、ロータリー財団に地区として申請します。

[クラブの申請を省略してもよろしいですし、地区は何名でも申請できます]

ロータリー財団は世界中から届いた申請書を基に書類選考し、10 月、ロータリー平和センター委員会と各センター長がエバンストンに集まって厳しい最終選考を行い、センター毎の合格者 (候補) を決定します。内示を受けた者は大学の正式合格をもってフェロー合格者となります。(短期の場合、大学の正式許可は不要) [応募・申請についての詳しい情報と関連資料はマイ・ロータリーから得られます]

**Q** 日本からの応募状況は如何でしょう

**A** 日本が平和国家ということもあるでしょうが、大変に少ないのが現状で、合格者は平均して毎年 2 名程度にとどまっています。

奨学金プログラム	修士号取得プログラム	専門修了証取得プログラム
目的	明日のリーダーを育成	今日のリーダーを強化
期間	15 ~ 22 カ月 (大学により異なる)	3 カ月
ロータリー平和センターの数	5	1
提携大学	デューク大学 / ノースカロライナ大学 国際基督教大学 (ICU) ブラッドフォード大学 クイーンズランド大学 ウプサラ大学	チュラロンコーン大学
フェローシップ受領者数	最高 50 人 (各平和センターに 10 人まで)	最高 50 人 (1 ~ 4 月コースと 6 ~ 8 月コース、各コース 25 人まで)
実地研修	夏季休暇中、2 ~ 3 カ月の実践的な インターンシップ	カリキュラムの一環として 2 ~ 3 週間の実習

しかし、NGO や NPO を通して海外で平和活動に従事する若者も増えてますので、是非このプログラムを有効に生かしてほしいものです。

その為にも全国のロータリアンの方々が自分たちのこの平和プログラムをよく知って頂き、地区やクラブ等にて広報をしていけば、応募者も増えられるのではないのでしょうか。

**Q フェローに支給される奨学金はどれくらいで、その資金源はどこから出ているのでしょうか**

**A** 修士号コースでは約2年間の学費、居住費、生活費、そして研究のための海外等の実地研修を含めると、一人当たり8万ドル程度かかるとのこととです。

資金源ですが、世界各地のロータリアン、地区、その他の支援者からの寄付によって支えられています。

地区のDDF(地区財団活動資金)からの寄贈と個人の基金の運用益、その他の寄付と合せてプログラムを支えます。

DDFは皆様のご寄付ですから、皆様もすでにこのプログラムの支援者と言えます。

恒久基金で、累計25,000ドル以上から冠名基金を設立できます。日本では100万ドル以上寄贈した方を筆頭に多くのロータリアンが支援を続けて、1,000万ドルに達するのも間近いと思われま

す。また、このプログラムを円滑に運営出来るようにロータリー財団は目標額を設け、地区や個人の支援を求めています。

よくわかりました。次にロータリー平和フェローを支援するロータリー側のことを伺います。

**Q よく聞くホストエリアとは何ですか**

**A** ICU(国際基督教大学)は東京三鷹市に所在しますので、第2750地区がホスト地区になりました。プログラムがスタートする前から尽力された故・岩井敏パストガバナー(元ロータリー日本財団理事長)、田中作次元RI会長などの先見の明で、近隣5地区を含めた6地区合同でホストエリア体制としたのです。

統括するロータリー平和センター・ホストエリアコーディネーターを中心に、ホストエリア連絡協議会が組織され、公式のカウンセラーオリエンテーション、ロータリー平和フェローオリエンテーション、ホストエリアセミナーを実施しています。また、ロータリー平和フェローの日本文化交流、広島研修旅行など、フェローをさまざまなかたちで支援していますが、そのための資金はガバナー会を通して、全国ロータリアンの方々から毎年1人15円のご協力をいただき成り立っています。

**Q 年次セミナーについて知りたいのですが**

**A** ロータリー平和フェローが2年間の研究テーマを発表する唯一の公式行事で、ICUでは、毎年6月上旬に大学が主催します。RI理事をはじめ全国各地からガバナー、財団関係者など、多くのロータリアンが参加されますが、ロータリー平和フェロー一人ひとりの平和研究テーマもさまざまで、研究の多様性に驚かされます。

ほんの一部ですが、ICUのフェローの発表を例に挙げますと

- 難民の保護、移民と国境の安全管理
- 貧困削減アプローチ
- 平和と公正を保障する強固な司法制度



- 子供難民の事例と対策
- 気候変動による強制移住と国家責任
- ブータンのゴミ処理問題

(文明化が破壊する自然環境)

- ウガンダの少女兵の苦悩と救済

等々、一人一人のフェローが独自のテーマにとり組んでいることがおわかりになると思います。

同時通訳を入れた半日がかりのセミナーの後、ロータリアンによりフェローの修了を祝う会が盛大に行なわれます。

**Q 卒業したロータリー平和フェロー(学友)はどのような活動をしているのでしょうか**

A 毎年、本部でアンケートを求めますが、4割ほどはNGOに就職し、センターで学んだ力を生かし、活躍しています。15%は各国の政府機関の人道的な部署に所属していました。その他、国連機関、平和研究者として学術部門などで平和活動しています。

**Q 学友たちの交流はあるのですか**

A 今は、ネット社会です。ICUのように同じセンターで学んだ学友はもちろんのことですが、彼らはロータリー平和フェローであったことに誇りを持ち、卒業年度やセンターに関係なく平和を願う戦士として共通の土壌で育った思いがあり、ネットワークで結ばれています。

年々その数はふくらみ、この先世界各地でロータリーの目指す世界平和に寄与する強い力となるでしょう。

私たちロータリーが立ち上げたこのプログラムですが、早急な成果は求めず、長いスパンで見守りたいと

思います。多分、その成果は直接目にはすることもできなくても、伐採された山に手植えた苗木が成長し茂みをつくり、人々に安らぎを与えるように平和な森をつくることでしょう。

**～おわりに～**

米ソ対立による東西冷戦が終わり、世界に平和が戻るという一時の願いが幻想となり、民族、宗教、テロ、政争など内戦、紛争が絶え間なく続いています。平和が遠のく感があるからこそ、このプログラムの重要性はますます大きくなりました。私たちロータリアンはこのプログラムをポリオ撲滅と同じく誇りに思っていないのでしょうか。

詳細をお知りになりたい方はロータリーのウェブサイト [www.rotary.org/ja](http://www.rotary.org/ja) をご覧ください。すぐにこのプログラムに精通できます。

My Rotary →行動する→平和フェローシップ

**資料**

- ロータリー平和センター
    - ロータリアンのためのプログラムの手引き
  - ロータリー平和フェローシップ
    - プログラムの概要と最新情報(パワーポイント)
    - ……クラブにて活用ください。
- ※ロータリー平和センター・ホストエリア連絡協議会  
<http://rotary.peace.jp/>

( 記：山崎 敬生／ロータリー平和センター  
 ホストエリアアドバイザー )

